金口議員（民主県政会）

平成 28 年２月 22 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）教育格差を固定化させないための施策について

グローバルリーダー育成校について，県は，国際社会の持続的な平和と発展をけん引できる人材を育成し，多様性の創出や，国際機関と連携したプロジェクト学習など，６つの特色を持つ突き抜けた新たな学びを実現するとしている。

県全体の教育水準を向上させる可能性を秘めている一方，あらかじめ選抜された少数の生徒を先鋭化させるものでもあり，対象とならない生徒たちが発生してしまう。

貧困や家庭の事情で学べない子供や，障害を持った子供たちも含め，全ての子供たちが広島の底力になるような対策を，グローバルリーダー育成校と並行して進めるべきである。

県では，子供たちの学びを支えるための基金の設置を予定しているが，その対象は，子供の貧困に起因した教育格差の固定化の解消を含め，幅広い生徒たちを支えるために活用するものと期待している。

そこで，一部少数精鋭を伸ばすためのグローバルリーダー育成校の創設と同時に，貧困などに起因する教育格差を固定化させないための施策が必要と考えるが，県として，どのように取り組むのか，教育長に伺う。

（答）

次代を担う子供たちが，生まれ育った環境に左右されることなく，健やかに育ち，夢や希望，高い倫理観や豊かな人間性を持ち，意欲にあふれ自立した人間へと成長することは，県民全ての願いであり，特に，公立学校におきましては，家庭の経済状況等にかかわらず，全ての児童生徒が，将来，社会参加や自立するために必要な知識・能力を身に付けられるようにしていくことが必要であると考えております。

こうしたことから，本県では，家庭の経済状況や児童生徒の学力等に応じた支援を行っており，

・ 児童生徒の基本的な生活習慣や家庭における学習習慣の定着を図るための，家庭教育支援アドバイザーやスクールソーシャルワーカーの配置の拡充，

・　多様な学びを提供するフレキシブルスクールの整備による，様々な事情や背景を持った生徒に対する教育を受ける機会の拡充

などに引き続き取り組んでまいります。

さらに，広島県教育振興基金を活用した，経済的に厳しい状況にある児童生徒の学習活動の充実に対する支援につきましても，今後検討してまいりたいと考えております。

教育委員会といたしましては，一人一人が生涯にわたって自己の能力と可能性を最大限に高め，多様な個性・能力をさらに伸ばしていく中で，多様な価値観を受容し，社会の様々な人々と協働・協調しながら，新たな価値を創造していくことができる力を身に付け，自己実現と社会貢献を図ることができるよう，関係部局・関係機関とも連携しながら，こうした施策をしっかりと展開してまいります。